

主 直 日 誌

4月15日（水） 天候 r

主直氏名

航路実習（水島航路横断、明石海峡航路）、備讃マーチス通報、神戸沖投錨

【感想（一日を振り返り、学んだこと、感じたこと）】

抜錨後、水島航路を横断する前に備讃マーチス（MARTIS）【Marine Traffic Information Service】（海上交通センター）に対して位置通報（MWライン）を行いました。担当者は他の専攻科生でしたが、緊張感を持ちながらVHF（無線）を行っていました。初めての航路横断でしたが、水島航路を航行する船舶は少なかったです。明石海峡航路は雨のため視界制限状態でした。視程が数百メートルしかなく、危険な状態だと思いました。そのような状況でも船長、船員、専攻科2年生は平然と対応していたので、感心しました。次の航海からは、本科生も乗船します。私達専攻科生が教える立場になるので、学んだこと及び教わったことを今後活かしていきたいです。明日、神戸港に入港します。古野電気株式会社・三木工場への上陸研修が予定されています。出来る限り多くのことを学びたいと思います。

2026年4月15日

航路実習（水島航路横断、明石海峡航路）、備讃マーチス通報、神戸沖投錨

